原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/05/26号

マーケットエッジ株式会社 小菅努

【現状確認】

（出所）LSEGよりマーケットエッジ作成

OPECプラス増産観測で上値重い

NY原油先物相場は、1バレル=60ドル台前半でやや上値の重い展開になった。イスラエルがイラン核施設の攻撃を計画中との報道を受けて一時64.19ドルまで上昇する場面も見られたが、需給緩和見通しを背景とした戻り売り圧力が強く、週末に向けては61ドル台中盤まで下落する展開になった。石油輸出国機構（OPEC）プラスが7月に日量41万1,000バレルの減産縮小（＝増産）を検討中と報じられたことで、需給緩和リスクが一段と高まったと評価されている。2週間ぶりの安値を更新した。

米国とイランとの核協議は、順調に進んでいるとは言い難い。トランプ大統領は核合意が近く成立する可能性に言及していたが、その後はウラン濃縮の放棄を巡って見解の違いが明らかになっており、早期合意は困難との見方が改めて強くなっている。このタイミングで、米CNNは米情報筋の情報として、イスラエルがイラン核施設の攻撃を検討中と報じた。最終決定は下されていないともされているが、地政学リスクの高まりが原油相場を一時的に押し上げた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月16日時点）は、原油が前週比133万バレル増、ガソリンが82万バレル増、石油精製品が58万バレル増となった。

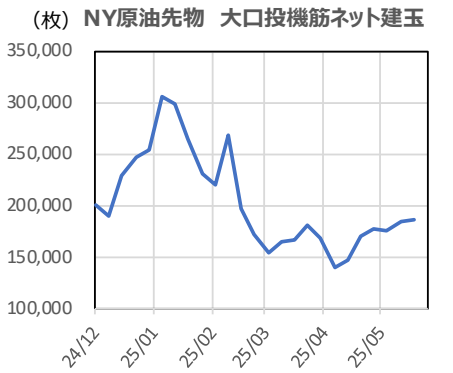
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【展望】

需給緩和見通しで上値重い、OPECプラスの動向に注目

需給緩和見通しから上値の重い展開が続く見通し。世界経済の減速で石油需要の鈍化が警戒されるが、そのタイミングで石油輸出国機構（OPEC）プラスの大規模な供給増が続く見通しになっている。過剰供給見通しが原油相場の上値を圧迫する展開が続きやすい。60ドルの節目を割り込むと、ファンドの売りが加速する可能性もある。



（出所）CFTCよりマーケットエッジ作成

6月1日にOPECプラス主要8ヵ国は7月の産油計画を協議する。5月と6月はそれぞれ日量41万1,000バレルの大規模な供給増が行われるが、7月も同規模の供給増が合意される可能性が高い。3ヵ月累計で123万3,000バレルもの供給増が実現すれば、需給緩和圧力の発生は避けられない。

（出所）EIAよりマーケットエッジ作成

また、株高圧力が一服していることもネガティブ。5月16日には、トランプ大統領が欧州連合（EU）との通商協議で譲歩がみられなければ、6月1日から50%の関税を課すべきと述べている。通商リスクの織り込みが再開されると、株安連動の値下がりリスクが高まる。

イラン情勢は引き続き不透明感が強い。イランは、経済制裁解除の場合には軍事目的のウラン濃縮を放棄する用意もあるとしているが、米国は民生目的のウラン濃縮についても放棄を求めている。イランは受け入れ不可能として反発しているが、米国とイランとの協議の進展状況、そしてイラン攻撃の可能性が報じられているイスラエルの動向にも注目したい。

（出所）Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

米石油リグ稼働数は急激な減少が続いている。過去4週合計だと18基減の465基となっている。原油安でシェールオイルの生産鈍化傾向が鮮明になると、原油相場の下落余地は限定される。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社 （Marketedge Co., Ltd.）
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-18-1（古川ビル4Ｆ）
【URL】 https://www.marketedge.co.jp/
【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.